

第 26 回 TAFISA ワールドコンGRESS 2019 東京

“Sport for All Through Tradition and Innovation”

スポーツ・フォー・オール ～伝統と革新～

日程: 2019 年 11 月 13 日(水)～16 日(土)

会場: 都市センターホテル(東京都千代田区平河町 2-4-1)

プログラム

(2019.11.13 時点)

11 月 13 日(水)	
	参加者登録
13:00 - 15:00	TAFISA 地域組織会議①(関係者のみ) - アジア、オセアニア - アメリカ
15:00 - 17:00	TAFISA 地域組織会議②(〃) - ヨーロッパ - アフリカ
19:00 - 21:00	ネットワーキングカクテル

11 月 14 日(木)	
<p><u>Smart Cities and Sport Summit との合同イベント</u></p> <p>Smart Cities & Sport</p> <p>LEARN · SHARE · CONNECT</p>	
09:00 - 09:30	コンGRESS参加者登録
09:30 - 11:00	<p>TAFISA ワールドコンGRESS 2019 オープニングセレモニー</p> <p>司会: Bill Morris</p> <p>ウェルカムスピーチ</p> <ul style="list-style-type: none"> - 伊藤雅俊 第 26 回 TAFISA ワールドコンGRESS 2019 組織委員会 会長 (日本) - Dr. Ju-Ho Chang, TAFISA 会長 (韓国) - Grégoire Junod, オリンピック開催都市連合 会長 (スイス) - Felicite Rwemarika, IOC スポーツアンドアクティヴソサイエティ委員 (ルワンダ) - 笹川陽平 日本財団 会長, WHO ハンセン病制圧大使 (日本) <p>Intermezzo</p>

	<p>基調講演</p> <ul style="list-style-type: none"> - Prof. Stuart Biddle, University of Southern Queensland (オーストラリア) 「スポーツ・フォー・オール ～伝統と革新～」 - 鈴木大地 スポーツ庁長官 (日本) 「スポーツ・フォー・オールに向けた我が国の取組」
11:00 - 11:30	<p>コーヒーブレイク／ポスター発表開始</p> <ul style="list-style-type: none"> - 山口 泰雄 TAFISA 理事(日本)
11:30 - 12:30	<p>全体セッション① <u>スマートシティ&スポーツとスポーツ・フォー・オールの架け橋を築く</u> (Building Bridges Smart Cities & Sport and the Sport for All Movement)</p> <p>オリンピック開催都市連合による「スマートシティ&スポーツ」と TAFISA による「スポーツ・フォー・オールムーブメント」の架け橋を築くセッション。 両組織の専門性から多くのことを学べるユニークな機会を提供いたします。人々が運動不足を解消し、アクティブに活動できる社会づくりを目指す 2 つの組織が互いの経験とノウハウを皆様と共有いたします。</p> <p>パネルスピーカー:</p> <ul style="list-style-type: none"> - David Simon, オリンピック開催都市連合, 副会長, ロサンゼルス(アメリカ) - Wolfgang Baumann, TAFISA 事務局長(ドイツ) - Felicite Rwemarika, IOC スポーツアンドアクティブソサイエティ委員会(ルワンダ) - 本間恵子 日本スポーツ振興センター 情報・国際部/TAFISA-JAPAN 理事(日本) - Mickel Beckers, スポーツ・教育・文化担当ディレクター, ロッテルダム市(オランダ) <p>基調講演: Prof. Keith George, リバプール・ジョン・ムーア大学(イギリス)</p>
12:30 - 13:30	<p>ランチ&ネットワーキング</p>
13:30 - 13:45	<p>全体セッション② <u>“Made to Play”*</u></p> <p>Made to Play - まちはいかに子どもたちの未来をアクティブに変えられるか? How Cities Can Shape the Lives of Future Generations</p> <p>基調講演: Caitlin Morris, General Manager, Social & Community Impact, Nike, Inc.(米国)</p> <p>*「Made to Play」は NIKE による、子どもの身体活動活発化推進プログラムです。</p>
13:45 - 15:00	<p>全体セッション③ <u>“Making change happen”(変化を起こせ！)</u> (スポーツを通じてコミュニティを形成するには？ How to build communities though sport?)</p> <p>スポーツは、私たちが思い描く理想の将来を築くうえで重要な役割を果しえます。</p>

	<p>スポーツには人々の人生を変え、社会を変え、真の意味でのコミュニティ形成に寄与する力があります。私たちには一方で、今の社会をスポーツによってどのように変えて、次世代に引き継いでいきたいのかを真剣に考えることが求められています。</p> <p>スピーカー:</p> <ul style="list-style-type: none"> - 長村佳子, IAKS:国際余暇スポーツ施設協会日本支部(日本) “スポーツ&レジャー施設の将来” - 原 畠 翠, 長野県スポーツ少年団 指導育成部会 部会員(日本) - Yoan Noguier, ユヌススポーツハブ 共同創設者及びディレクター(フランス) 	
15:00 – 15:30	コーヒブレイク&ネットワーキング	
15:30 – 17:00	<p>分科会 1 (Parallel Session 1) “スポーツ・フォー・オールにおける男女の平等” (Gender Equality in Sport for All) 6 階 601</p> <p>スポーツ・フォー・オールムーブメントが、真に「すべてのひとのためのスポーツ」と定義づけられるためには、それを推進する団体のマネジメントからプログラム実施のすべての局面において、「男女の平等」が保たれなければなりません。</p> <p>司会: Lilamani de Soysa, IWG: 世界女性スポーツ会議(スイス)</p> <p>スピーカー:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Game Mothibi, IWG: 世界女性スポーツ会議 (ポツワナ) - Mitra Rouhi-Dehkordi, TAFISA 理事 (イラン) - 小笠原悦子 順天堂大学(日本) - Erika Borsanyi FITEQ 連盟(ハンガリー) 	<p>分科会 2 (Parallel Session 2) “グローバル・アクティブシティ” (Global Active City) 3 階 コスモスホール</p> <p>スピーカーは全員、自身のまちの住民をアクティブに変えることに成功した人たちです。彼らのノウハウに学び、ご自身の今の努力を IOC による国際的な認証制度「Global Active City 認証」に結びつける方法を学んでみませんか?</p> <p>司会: Jean-François Laurent, TAFISA ジュニアディレクター(フランス)</p> <p>スピーカー:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Christoph Holstein, ハンブルク市 (ドイツ) - Dejan Crnek, リュブリャナ副市長 (スロベニア) - Ibrahima Diame, スポーツ・レジャー青年委員会 委員長, ダカール市(セネガル)
	<p>分科会 3 (Parallel Session 3) “アクティブシティのイノベーション” (Active City Innovation) 5 階 スバル</p> <p>社会の他分野と同様、スポーツの世界にもイノベーションがあちこちで起こっています。よりアクティブな住民を生み出すために、新</p>	<p>分科会 4 (Parallel Session 4) “高齢社会に向けたまちづくり” (Adapting Cities to an Aging Society) 7 階 706</p> <p>今世紀に入り、高齢化は世界中で重要な社会変化をもたらしています。この変化に対して、まちはスポーツを通じてどのような準備をするべきでしょうか?</p>

	<p>たなテクノロジーは、まちにどのようなイノベーションを起こすべきでしょうか？</p> <p>司会: Eckehard Fozzy Moritz, Innovationsmanufaktur (ドイツ)</p> <p>スピーカー:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Joris Wils, アントワープ市(ベルギー) “ビッグデータの活用による市民スポーツの活性化” - Jakub Kalinowski, V4 スポーツ財団(ポーランド) “データ活用による子ども達の健康・身体活動活発化政策立案” <p>パネルディスカッション;</p> <ul style="list-style-type: none"> - Keri McDonald, 事業開発・ファンドレイジングマネージャー, TAFISA(スコットランド) - Tom Fritz, マックス・プランク研究所(ドイツ) - 安藤良一, 超人スポーツ協会(日本) - Naonori Ito, ダンロップスポーツ(日本) - 宮地 力, 東京大学(日本) 	<p>司会: Malgorzata Szukalska-Wrona, スポーツ・観光庁(ポーランド)</p> <p>スピーカー:</p> <ul style="list-style-type: none"> - Finn Berggren, Gerlev Sports Academy(デンマーク) - 山口 泰雄, TAFISA 理事(日本) - 阿部 篤志, 日本スポーツ振興センター 情報・国際部, スポーツ政策・情報ディレクター,(日本)
17:00 – 17:15	分科会のまとめ (4 分科会のモデレーターによる総括) 3 階 コスモスホール(以下、終了まで)	
17:15 – 17:45	<p><u>全体セッション④クロージング (スマートシティ&スポーツサミット&第 26 回 TAFISA ワールドコンGRESS 2019 東京合同イベント)</u></p> <p>アクティブなまち&ひとづくりの未来に向けた 2 つの組織による大きな第一歩が踏み出されたことを記念して、“Call for Action(活動宣言文)”が打ち出されます。また、両組織間で今後の連携に向けた覚書が取り交わされます。ぜひ、この歴史的な瞬間にともに立ち会いましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 活動宣言文 Catherine Forde, TAFISA 副会長(トリニダード・トバゴ共和国) - 署名式典 	
17:45 – 18:45	<p>コーヒープレイク / TAFISA スチューデントペーパーアワード審査</p> <p>これからのスポーツの発展をアカデミックな見地から支えることを目的として、スポーツ研究分野の専門家、大学生・大学院生らが、自身の最新の調査結果等をポスターにま</p>	

	とめて発表を行います。今後のスポーツの発展に資する、刺激的で興味深い分析結果に期待しましょう。
19:00 – 22:00	<u>ウェルカムレセプション</u> <ul style="list-style-type: none"> - TAFISA スチューデントペーパーアワード表彰 - 文化パフォーマンス等

11 月 15 日(金)	
09:00 – 10:30	<u>グループワーク: 議会式ディベート (House of Commons Debate)</u> 3 階 コスモスホール(終日 ※分科会時は 2 部屋に分割) “Sport for All Through Tradition and Innovation” 「スポーツ・フォー・オール ～伝統と革新～」 <p style="text-align: right;">司会: Peter Barendse TAFISA 理事(オランダ)</p> 議題提供者: <ul style="list-style-type: none"> - Wendy Gillett, ブルーアース財団 (オーストラリア) - Keith Joseph, パナムスポーツ機構(セントビンセント及びグレナディーン諸島) - Prof. Keith George, リバプール・ジョン・ムーア大学(イギリス)
10:30 – 11:00	コーヒーブレイク
11:00 – 12:00	<u>TAFISA ワークショップ (TAFISA Workshop)</u> 「TAFISA ミッション 2030: スポーツ・フォー・オールムーブメントの SDGs (持続可能な開発目標) への貢献とそのロードマップ」 TAFISA ワークショップでは、TAFISA のメンバー、パートナー、および現場にいるすべての出資者が、世界のグローバルな課題に取り組み、変化をもたらすために、どのような対応策を取り、そして一丸となって取り組んでいくのかを検討します。 <p style="text-align: right;">司会: Dionysios Karakasis, TAFISA 理事(ギリシャ)</p> <ul style="list-style-type: none"> - TAFISA Mission 2030 報告および次なるステップについて Gaetan Garcia, TAFISA (フランス) - TAFISA One Channel プロジェクト Kwangsung Kim, One Channel (韓国) - TAFISA の次世代リーダーより “TAFISA World Sports for All Games 2020, リスボン, ポルトガル” Vitor Pataco, Portuguese Institute for Sport and Youth (ポルトガル) TAFISA のパートナー組織紹介

	<ul style="list-style-type: none"> - Mansour Nader, Playfit (ドイツ) - Ho-Cheol Lee, Nassau (韓国) 	
12:00 – 13:00	ランチ&ネットワーキング	
13:00 – 14:30	<p><u>分科会 1 (Parallel Session 1)</u> “スポーツが幸せな長寿を創る” (Happy Aging) 司会: 山口泰雄 TAFISA 理事(日本)</p> <p>Impulse: 議論喚起 内田勇人 兵庫県立大学 (日本)</p> <p>Case Studies: 事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> - Mutlu Turkmen, International Bocce Confederation (トルコ) - Flavia Epureanu, ルーマニア スポーツ・フォー・オール連盟 (ルーマニア) - 長ヶ原 誠 神戸大学 (日本) - Hank Jwo, 台湾オリンピック委員会(台湾) 	<p><u>分科会 2 (Parallel Session 2)</u> “Made to Play”</p> <p>司会: Herzel Hagay, TAFISA 理事 (イスラエル)</p> <p>Impulse: 議論喚起 Prof Henry Daut, フィリピン・スポーツコミッション (フィリピン)</p> <p>Case Studies: 事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> - Leandro Olvech, Director, 国際卓球連盟財団(ドイツ) - Maria Luiza Souza Dias, SESC SP (ブラジル) - 佐藤 善人 東京学芸大学 (日本) - Eugene Nzabanterura, ルワンダオリンピック委員会(ルワンダ)
14:30 – 15:00	コーヒーブレイク	
15:00 – 16:30	<p><u>分科会 3 (Parallel Session 3)</u> “スポーツ政策を形成する” (Design Your Policy)</p> <p>司会: Janez Sodrznik, TAFISA 理事 (スロベニア)</p> <p>Impulse: 議論喚起 鎌田真光, 東京大学 (日本)</p> <p>Case Studies: 事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> - Chantal Buchser, IOC (スイス) - Andreas Silbersack, DOSB (ドイツ) - Vladimir Sengleev, ロシアオリンピック委員会 (ロシア) - Shaima Saleh Alhusseini, サウジアラビア スポーツ・フォー・オール連盟(サウジアラビア) 	<p><u>分科会 4 (Parallel Session 4)</u> “スポーツ・イノベーションが社会を変える” (Impact Through Innovation)</p> <p>司会: Leonard Thadeo, スポーツ省 (タンザニア)</p> <p>Impulse: 議論喚起 Ian Wright, Badminton 世界連盟 (マレーシア)</p> <p>Case Studies: 事例紹介</p> <ul style="list-style-type: none"> - 安藤良一, 超人スポーツ協会(日本) - Ray Sweeney, International Ikkaido Federation (イギリス) - Pia Pauly ドイツ体操連盟 (ドイツ) - David Minton, The Leisure Database Company (イギリス)
16:30 – 17:00	TAFISA 総会参加登録 (TAFISA 会員限定)	
17:00 – 19:00	TAFISA 総会 (")	

11月16日(土)

09:00 - 12:00	<p><u>スポーツデイ:運動会</u></p> <p> kongressの会場である都市センターから歩いてわずか数分の距離にある、麴町中学校のグラウンドにて開催されます。ぜひたくさんの方の面白くて革新的なスポーツをお試し下さい。</p> <p>日本の運動会 & さまざまなスポーツ体験 (参加型イベント)</p> <ul style="list-style-type: none"> - レクリエーションスポーツ - ボッチャ - スライドリフト(超人スポーツ) - Air バドミントン - Hangung (韓国のニュースポーツ) 他 <p style="text-align: right;">※スポーツ体験の種目は変更する場合がございます</p>
12:00 - 14:00	ランチ&ネットワーキング
14:00 - 18:00	自由時間 / (希望者向け観光プログラム等あり)
18:00 - 22:00	<p><u>クロージングセレモニー (Closing Ceremony & Gala Dinner)</u></p> <ul style="list-style-type: none"> - コンgress総括 報告者: Prof. Stuart Biddle, サザンクイーンズランド大学(オーストラリア) 共同報告者: 山本真由美, 日本アンチ・ドーピング機構: JADA(日本) - TAFISA 会長挨拶 - TAFISA から組織委員会への謝意 - TAFISA アワード表彰式 - 第27回 TAFISA ワールドCongress 2021 組織委員会(スロベニア)への大会旗の伝達と同組織委員会による歓迎スピーチ - 文化パフォーマンス 他 <p style="text-align: right;">※フル参加登録料でご参加の方のみ対象</p>

11月17日(日)

終日	登壇者チェックアウト&帰国
----	---------------